

ストーカー・DV 対策に県警察がプロジェクトチーム (PT) を創設

DV やストーカーなどで女性に被害が及ぶ事件が相次ぎ、その為の特別対策が全国の警察本部で一斉に動き出した。

東京都三鷹市で昨年 10 月、女子高生が警視庁にストーカー被害を相談した日に殺害された事件では、警察の対応の遅れが指摘された。これだけでなく、DV やストーカー被害に対する警察の認識の甘さや対応の遅れに業を煮やした「全国シェルターネット」他の女性支援団体は、警察庁に対して「厳重な対応と、警察官の意識改革」を強く申し入れをしていた。

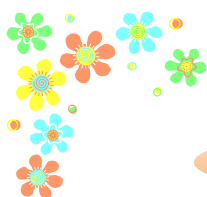
こうしたことを受け、警察庁は 12 月、窓口の生活安全部門に、凶悪犯罪に迅速に対処するノウハウを持つ刑事部門も加えた仕組み作りを指示していた。

岡山県警も両部門で構成する PT を創設し、各警察署が相談を受けた段階から PT が積極的に関与し、危険性を見極め、迅速な被害者保護と解決を目指すこととしている。

岡山県内でも昨年 5 月倉敷市内で、女性から「交際を断った知人男性の車が自宅近くに止まっている」と 110 番があり、警察官が自宅へ送り届けた後、女性宅室内で重傷を負う事件が起こってしまった。また、全国的に新しい対策チームを設けた直後の 4 月にも、大阪市内でストーカー殺人事件が起きている。

凶悪な事件に発展する前に何とか食い止めなくてはならない。その手立てとして、私達支援団体としては、「危険があれば近くの警察署にまずは相談するように」とアドバイスするのが通例だ。その現場の窓口で、「たいしたことはない」と軽くあしらわれて適切な対応が受けられなかったこれまでの事例に鑑み、全ての相談が PT に一元化され対応されることは心強い事だ。今後の相談事例や警察の対応状況など、注目しつつ連携していきたいものと思う。

(文責 横田えつこ)



Information

日本女性会議2015倉敷

開催期間 平成27年10月9日(金)～11日(日)

開催場所 倉敷市民会館、倉敷市芸文館 など

日本女性会議は、昭和50年の「国際婦人年」とそれに続く「国連婦人の10年」を記念し、昭和59年に名古屋市でスタート。男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流の促進や情報のネットワーク化を図ることを目的として開催されています。今年には札幌で、いよいよ来年は倉敷で、32回目の大会となる日本女性会議。全国から2000人以上の参加者が集う国内最大級のイベントです。



大会テーマ

「おもいやり
男女(ひと)が集う
白壁のまち」

「日本女性会議2015倉敷 プレイベント」

来年倉敷市での本会議を盛り上げるために、今年秋に開催予定です。

《平成26年10月11日(土) 倉敷市芸文館、倉敷市立美術館》

